



7月・例会のご案内

雨間に紫陽花の色も一段と深みを増す今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。
さて、7月・例会のご案内をいたします。“話し合える例会”のパート2として、
「キャリア教育講座・Wing」の昨年度1年間の実践報告を行い、学齢期からの
キャリア教育の大切さについて話し合います。多くの皆様方のご参加をお願いします。

日時 平成21年7月25日(土) 午後1:00(受付開始)~4:30
会場 東京都立多摩社会教育会館

◇テーマ 将来働くために今できることを話そう・パート2
「発達障害の生徒と親によるキャリア教育の実践」
——「Wing」の取り組みより——

◇アドバイザー 神奈川県立保健福祉大学教授・松為信雄氏

案内図

交通・最寄駅

- ◆JR 立川駅南口より
徒歩 20分
- ◆JR 西国立駅より
徒歩 10分
- ◆モノレール
柴崎体育館駅より
徒歩 15分

※初めての会場ですので、時間に余裕を持ってお出かけください。

日常の活動を大切に

会員の皆様、関係者の皆様、「けやき」の活動にご協力くださりありがとうございます。
会長として4年目となりますが、常に新しい気持ちで役員の方々と一緒に活動していきたいと思っておりますので、参加はもちろん、ご意見・ご支援よろしくお願い致します。

さて、私の住んでいる地元自治会の回覧板では、学区の小学校（息子の母校）の学校便りも回覧されていて、この4月から「特別支援学級」が開設された記事が載っていました。先日、用事で小学校を訪問した際、職員・来客用玄関に新学級名の大きな看板とくつ箱が設置されていて、十数年前の息子が他校の通級を利用していた頃のことを懐かしく思い出しながら、しばし眺めてしまいました。当時、車で7～8分程の距離でも、週に2回の送迎にはいつも時間を気にしていて、やや負担を感じながら過ごしていたこともあったように思います。ただ、お迎えの時には、子どもたちが教室から出てくるのを待ちながら、市内の各地から集まるお母さんたちとの雑談の中で、病院や療育情報・子育てヒントなど沢山の収穫があったことは言うまでもありません。お母さんたちとは今でも楽しい飲み仲間です。

自校通級になると、親も子も時間や経済面での負担がぐっと減り、より有意義な過ごし方が期待できるでしょう。特別支援学級が身近で当たり前の存在になれば、学び方の違いに合わせた支援ができるということが、けっして「特別」ではなく、すべての子どもに必要な事だということも理解されると思います。親の出会いの場はどうでしょう。私の場合には雑談・立ち話などの一見無駄なおしゃべりの時間が、相談にのってもらう程でもないような・・・でも一人で抱え込みたくないような小さな悩みを知らず知らずに解消していた大切な時間であったように思います。

「けやき」の存在も同じです。専門分野の講師を招いての講演会・勉強会や行政方面へ声をあげていく要請活動も重要なことですので、よくよくバランスを取りながら、おしゃべりも自由にできる日常の活動も大切にしていきたいと考えています。

皆様、今年度も変わらず、ご協力よろしく申し上げます。

三輪覚子

ご寄付をいただきました



◇TILC（東京インターナショナル ラーニング コミュニティー）
二森 乾 様より 25万円

◇東京LD親の会連絡会様より 10万円

「けやき」の諸活動のために、有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。

平成21年度・総会報告

平成21年度・総会が4月25日(土)に東京都多摩障害者スポーツセンターにおいて開催されました。平成20年度活動報告、会計報告、会計監査報告が承認され、引き続き平成21年度活動方針の採択の後、新役員が選出され新年度がスタートしました。

活動方針

1. 会員相互の交流や相談活動を充実させる。

活動がさらに充実するよう、今までの取り組みを継続する。その上で、年間5回の例会のうち講演会(会員だけでなく一般も対象)を2回、交流・相談会(会員限定)を3回とし、気軽に話ができるよう工夫する。

2. 会員数を増やすための活動を展開する。

案内リーフレット・ホームページ・機関紙等での宣伝を継続する。新たにホームページでは、例会報告や部会・自主グループの様子等も加えて工夫する。入会説明会も継続し、活動内容をわかりやすく説明して、安心して入会してもらえるよう務める。

3. 他の親の会・支援機関・諸団体等と協力連携する。

NPO 全国LD親の会や東京LD親の会連絡会との協力連携はもとより、各機関・団体とも連携し、お互いの知識を深め、活動の幅が広がるようにする。また、一般の人々にもLD等発達障害への理解や支援を働きかける活動を展開する。

充実した交流会が持てました

総会の後に、メインテーマを「わが子のいいところ自慢」として、グループ別交流会を持ちました。子どもや親の年齢、世代を超えて幅広く情報交換や交流ができるように、学齢期の子を持つ親、就労している子の親がそれぞれのグループに入るように配慮し、3つのグループに分かれて話し合いました。就学や就職の体験談や情報交換など、どのグループも内容の濃い充実した交流の場となりました。



5月・例会に参加して

日 時 平成21年5月23日(土) 午後1:00~5:00

会 場 国分寺労政会館

アドバイザー

岡野 茂氏(東京障害者職業センター所長)

テーマ 「将来働くために、今できることを話そう」

障害者職業センター岡野所長に「語り合える場」のアドバイザーとしての立場と一緒に参加していただき、子供の近況や悩みなどを語り合いました。

岡野所長のからの就労に関する話では、諸事情で手帳取得が難しく手帳がない場合でも発達障害者であれば支援機関を通して職業訓練校利用などを始めとした様々な就労支援を利用可能なようです。

なかでも職安を通して一般就労を行っている場合に限るが、就労中に支障がある場合はジョブコーチを付けられる支援もあるので心配しないで就労活動を行って欲しいとアドバイスがありました。しかし、就労に結びつけるには行政の支援だけではなく、職業準備として『自分自身の長所/短所などの特徴を認識すること』や『あいさつ・話を聞く・時間を守るなどの社会生活を営むのに必要な基本的な礼儀』などを家庭でも育てておくことが大切であるとのことでした。そのほかにも活発な話し合いの中で職業センターや行政への専門的な要望や意見も出され、深く受け止めながらも支援機関サイド内の調整に苦慮されていることを知りました。

今回の例会に参加した中で岡野所長から「ご自身の親としての立場から、お子さんの就労に当たっての秘話を例に、親から見て心配な点はあるが自分の道を歩んでいる」との話がありましたが、この話を聞いて私は、子供を育てることで様々なことを学び、親の専門家としての目を養うことで、学術的な専門知識に目を奪われるだけでなく、子供を信じ見守ることも大切だと感じました。

親の会として『就労して税金を納められる大人に育てる』ことを目標としているとの三輪会長の言葉を聞いて、これからも『けやき』の活動を見守って生きたいと思いました。

I . I



参加者の感想（5月例会アンケートより抜粋）

- ◇今回のテーマは、今のうちの子にピッタリの事だったので大変良かったです。今まで本人に時間の意識をさせようと何度も言って来ましたが、基本的なことなのでこれからはずっとと言っていこうと思います。本人にも好きな事、嫌いな事を理解させ、得意な事をのばしてやりたいと思いました。
- ◇参加者のお子さんには幅広い年齢があり、いろいろなケースや立場があり、抱えている問題や悩みも様々にあるということがわかりました。話の内容も分かりやすく、今の息子に対する接し方にヒントを頂きました。また、就職すること定着させ自立させていくことは、まだまだ難しいことなんだと思いました。
- ◇就職は、常識の尺度や年齢にとらわれなくて、学校卒業と同時になくても良いという話に、気持ちに余裕が持てました。自分もまだまだですが、わが子を少しずつ育てていきたいと思います。
- ◇初めて参加させて頂き、けやきの中にもいろいろな部会があり、活発に活動されていることに驚きました。岡野さんの話も非常に良かったです。今後どれだけ参加できるか分かりませんが「Wing」の活動には興味があるので詳細が知りたいです。
- ◇息子が、対人関係が非常に苦手で、将来働いて生活していけるのか非常に不安に思っていました。今後、親としての自分がどうしていくか大変勉強になり、よく考えていきたいと思いました。

<参考資料>平成21年度・けやき会員のお子さんの構成表（5月末現在の人数）

学年					学校種別等				
	男	女	計		男	女	計		
小学校	小5	1		2	大学・短大	4	1	5	
	小6	1			高等専門学校4年	1		1	
中学校	中1	4		11	専門学校	1		1	
	中2	5			就労（一般）	4	1	5	
	中3	2			就労（障害卒）	8		8	
高校相当	高（高専）1	2		9	職業訓練校	1		1	
	高（高専）2	4			就労移行支援	2		2	
	高（高専）3	2	1		その他	4		4	
					在宅	3		3	

小学校の状況		
普通級（通級利用有り）	1	2
特別支援学級	1	
中学校の状況		
普通級（通級利用無し）	4	11
普通級（通級利用有り）	4	
特別支援学級	3	

高校相当の状況（公立・私立合わせて）			
	全日制	定時制	通信制
普通科	2	1	2
高等特別支援学校・特別支援学校高等部	2		
高等専修学校	2		

全国LD親の会総会 公開フォーラム報告

日 時：6月20日（土）・21日（日）

会 場：ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）

テーマ：一人一人のニーズに応じた特別支援教育の実現を目指して
—— 連携の現状・課題・展望 ——

6月20日大阪にてNPO法人となって2回目の、全国LD親の会総会が開催されました。46団体中参加20団体、委任状25団体で開会。いずれの議案も総員賛成で可決されました。また昨年度に引き続き内藤孝子理事長が選任されました。なお「けやき」からは新堀和子さんが評議員として選任されました。総会終了後、エンパワメントセミナーとご本人達の発表会、そして懇親会が開催されました。懇親会には上野先生も参加され、昔話などに花が咲きました。

翌21日にはインフルエンザで集まりが心配されたフォーラムでしたが、会場の7割を埋める参加者で盛況となりました。上野先生、柘植先生の講演の後、文科省特別支援教育課の斉藤課長と厚労省精神・障害保健課の福島課長から、施策解説等が行われました。

井上



就労部会

今年度のメンバーは24人でスタートしました。就労部会には、学齢期以降の発達障害を持つ方の親が多く参加しています。就労をしている人、就労までにもう少し時間がかかる人、転職を考える人などそれぞれの立場は違いますが皆、課題を持ちながら集まっています。

今年度は、現状を話し合いながら共通の課題を見つけて、方向性を見出しつつ、親同士の交流を通してストレスを解消し、家ではいつも笑顔でいられるような環境を皆で作りに上げていきたいと思います。



活動報告

◆3月24日(火)・国立・藍屋

食事会と今年訓練校に行かれた方からの話や近況報告など、会員同士の交流の場を持ちました。

◆4月25日(土)・多摩障害者スポーツセンター

「今困っていること」をテーマに話し合いました。金銭管理についての悩みが多く出ました。

◆5月26日(火)・多摩障害者スポーツセンター

日常生活の課題や自己認知、就労に向けての取り組み等それぞれの現状を話し合いました。その後昼食をとりながら交流をし、楽しいひと時を過ごしました。

◆6月23日(火)・多摩障害者スポーツセンター

今回は、かねてから希望のあった、『発達障害者にとっての成年後見制度の活用法』ということをテーマに勉強会を持ちました。講師は行政書士をされながら

発達障害の方たちの学習指導もなさっている佐々木正彦氏(みなみ野学園学習教室主宰)にお願いして、事例を含めながら制度のはじまりとともに3類型(後見・保佐・補助)の詳しい説明と比較までの基礎的なところを分かりやすくお話していただきました。

次回「成年後見制度の活用法パート2」は9月15日(火)・10時から(会場同じ)です。



代表・新堀

教育部会



教育部会は現在小学生から高校生の親御さんが参加し活動しています。学齢期のお子さんの部会ですが、学校の勉強の問題だけでなくそれぞれの子どものもつ日常の困ったところや良いところをざっくばらんに話し合う活動をしています。「特別支援教育」のこと、「在籍」の問題、「療育」のこと、中学以降の「進路」の問題、「余暇」のこと、「友人関係」などなどテーマは多岐にわたり、熱いトークを交わしています。昨年度は比較的少人数であったため、じっくり話を聞き、互いが相談にのる「ピアサポート」的な相談会を中心に行いました。表面的な話し合いに終わらず、相手の立場に心から寄り添える内容でとても好評でした。

◆今年度は日程はまだ未定ですが、以下のような内容を考えています。

- ① 小学生にはまだまだ発展途上の「特別支援教育」実現についての学習
- ② 中学生には高校進路の考え方、実際の学校見学
- ③ 高校生には卒業後の進路のとりかた（進学それとも就労？）の勉強・見学
- ④ 「うちの子ども自慢」（思いっきり親ばかになりませんか？）

◆7月11日にランチをとりながら「自己紹介」「近況報告」「悩み相談」「計画立案」をする予定です。まずは「顔を合わせ実際の一人ひとりの悩みに向き合うこと」を一番大切に考えています。知りたいことがある、聞いてもらいたいことがある等々どんなことでも Welcome、お気軽に声を掛けていただけるととてもうれしいです。

副代表・伊原

おやじの会

「お父さんの子育てへの取組を考える自主グループです」をうたい文句にここ数年機関紙で紹介してきましたが、例会後の懇親会（懇親を深めて思うところを互いに話し合える環境作り）の域から次の展開も考えて行ければと思っております。今年度も一人でも多くのお父さんが参加していただける活動を目指しますが、お母さんの参加もちろん歓迎です。



藤本

ポーレ ポーレ



10年目を迎えて

中学一年生の子どもたち中心にはじめた ポーレポーレも今年10年目を迎えました。その当時、10年後の今を想像することさえできないような状況でしたが、今思えばあつという間の9年間でした。ポーレポーレの名前の由来通り 本当にゆっくりではありましたが、この場所が子どもたちの居場所として確実に定着してきていることは、大変うれしいことです。

これまでには、親の思いとしてこの活動を通して、ソーシャルスキルのなこともしていきたいと考えた時期もありましたが、今は大きな目標をかかげるより、この場所が楽しい、この場所にくるとほっとする、言いたいことが言える、話を聞いてもらえる、ここにくると自分が出せる等、自然に足が向く場所であればいいのではないかと考えています。仕事で嫌な事があった、就職活動がなかなかうまくいかない、友達と喧嘩してしまった、勉強が大変で、年齢を重ねていくにつれ、こんないろんな悩みを抱えながらも明日からまた頑張ろうと自分の生活に戻っていける、そんな居場所にしていてもらいたいと願っています。

今年度も昨年同様、ボランティアの方と活動リーダーの子どもとが中心となり、1年間活動していく予定です。夏の宿泊、年末のカラオケ・ポーリング、年度末の進級・卒業・就職を祝う会などは、活動として定着してきました。1年間ある程度見通しを持って活動できることが子どもたちにとってもいい影響を与えてきていると思っております。

最後に当初からずっとポーレポーレをささえてくださっているボランティアさんがいたからこそ、活動10年目を迎えられたといっても過言ではありません。保護者一同ボランティアの方々には感謝しつつ、いつまでもあり続ける場所であってほしいと願っております。

岡部



けやき八王子

今年度は、八王子市民企画事業の計画を中心に、けやきの活動を広めながら地域でのつながりを深めていきたいと考えています。また、去年の夏に好評だった夏休みの子供たちの自習会も予定しています。

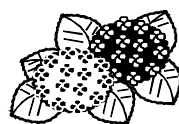
秋の講演会では、自立に向けて今できることを考える機会になるような内容を計画中です。

◆ 6月20日(土)『アートワークショップ』が行われました。

アートワークショップでは「アートで気持ちを開放しよう」をテーマに、親子で粘土を使って自由な表現を楽しみました。

今後の予定

- ◆ 7月 ・夏休みの子供たちの自習会
- ◆ 10月3日(土) ・講演会(北野市民ホール)
・八王子市民企画事業成果報告書作成
- ◆ 11月 ・八王子市民企画事業成果報告書提出



尾形

NP講座 つくし

自分の子育て観に気づき、子どもの生き方を支え応援する
その様なおしゃべりの会に参加しませんか



子どもを連れて、公園や子どもの広場などに遊びに行っても、一人遊びをしてまわりの子とうまく関われない。言葉が少し遅れているかなと感じたり、子どもがなぜ癩癩を起こすのかわからなくて途方にくれることも。それでも、病院や幼児健診などでは「様子を見ましょう」・・・

発達障害かもしれないとわかった時、腑に落ちたと同時に、この先子どもをどのように育てていけばいいのか。幼稚園や学校の先生へ子どもの状態をどう伝えればいいのか。子どもの成長や見通しに不安を感じ、悩んでいるお父さんお母さん。つくしは、幼児・児童の子育て親のおしゃべりの会です。いっしょに考え、励みの場にしませんか？まずは、のぞいてみてください。

◆開催日の時間・場所は、けやき例会や役員会の前の

「入会のための相談会13:00~14:00」を利用して行います。

(場所は毎回変わりますので確認してください)

◆参加を希望される方は、事前に下記の「けやき」メールアドレス

keyaki@box.club.ne.jp

までご連絡ください。

発起人 瀧澤

キャリア教育講座 Wing

昨年度の修了式が終わって間もなく、今年度の講座が始まりました。
受講者は本人9名、親13名、ボランティア・講師9名でスタートしました。



◆第1回・3月30日（月）

オリエンテーションとキューピー(株)の工場の食堂体験をしました。

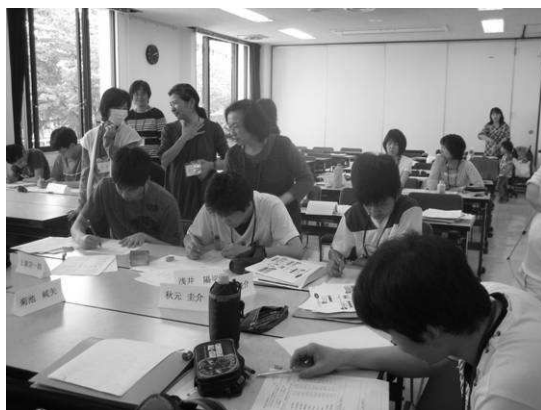
子どもたちは、当日の講座の目的が理解できていないために松為先生に叱られる場面もあり、スタッフは子どもたちが講座をどのように理解できていくのか？繰り返す良い機会となりました。

◆第2回・5月10日（日）

自分の特徴をつかむ・・友達から見た自分・・自分の特徴をまとめてみよう・・シートを使って考え、記入の作業をしながら自分のアピールできるところを知り、一人一人発表しました。

室内が蒸し暑く、集中の困難な人には苦しい作業になってしまいましたが、お互いの声かけや最後まで真剣に取り組む我が子以外の子を応援する親の姿が多く見られ、1年間の子ども同士の仲間意識が育っていることや、親の参加意識が高まっているを感じる講座になりました。

今年度は、第2回、第3回（6月28日）、第4回（7月12日）の講座が連動した



内容になっていることと、体験が入るために打ち合わせも大変ですし、すべてが反省することばかりですが、反省から生まれるアイデアも大きいと感じています。

また、夏休みを利用した企業体験や夏合宿（8月21日・22日）、企業見学と、今年の夏は楽しみプラス意識の向上も更に期待したいところです。

新堀

お知らせコーナー

年間を通して入会を受付けています

入会金 2000円

年会費 5500円

例会、役員会の会場に直接お出かけください。

詳しくは、けやきホームページ <http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>
にてご案内していますのでご覧ください。

賛助会員、通信会員、ボランティア会員も募集しています。

会員募集中



書籍紹介（例会等で好評販売中）

◇LD・ADHD・高機能自閉症とは？

会員価格 350円 一般価格 500円

◇発達障害児のための「支援制度ガイドブック」

会員価格 350円 一般価格 500円

◇自立生活サポートチェック表

会員価格 500円 一般価格 1000円

◇LD等の発達障害のある高校生の実態調査報告書

会員価格 800円 一般価格 1200円

◇LD・ADHD・高機能自閉症等の発達障害向けの教材、教具の実証研究報告書

会員価格 600円 一般価格 1000円



編集後記

今の住まいに移り住んでから20年。猫たちとの共同生活もほぼ同時期に始めました。この間、世代の交代もありましたが息子たちが拾ってきた猫を含めて、現在6匹の仲間との共同生活を楽しんでいます。長年お付き合いしていると、「猫ってLDだなあ…」と思うことがよくあります。こだわりの強いところ。怒られてもすぐ忘れるところ。が、



一度覚えた楽しいことは一生忘れないところ。生活習慣がちよつとでも変わると（新規参入猫が来た時など）うろたえてどうしていいか分からなくなってしまうところ。…いろいろありますが、やっぱりそのつぶらな瞳でじっと見つめられてしまうと、「なんでこんなに可愛いのだろう」といつも心が癒されてしまうのは、私だけではないのでしょうか…

三輪高二